



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2024-25



8

Aug.2024

2024-25 年度
国際ロータリー第 2640 地区
ガバナー 野村 壮吾



目次

8月ガバナーメッセージ	1
【地区活動報告】	
第11回全国インターアクト研究会 参加のご報告	3
委員会活動報告	4
【クラブ活動報告】	
世代をつなぐ国際奉仕活動（和歌山中RC）	6
上富田町青少年育成町民会議へ活動支援金贈呈（田辺東RC）	10
R財団グローバルプロジェクト 「衛生水資源貯水タンク新設」寄贈式（貝塚コスモスRC）	11
新会員の紹介	12
訃報	13
ハイライトよねやま Vol.292	14
会員数報告（2024年6月）	16
My Rotary 登録状況（2024年7月）	17
8月の行事予定	18

国際ロータリー第2640地区 2024-2025年度

地区大会

2024年11月16日(土)・17日(日)
会場 スターゲイトホテル関西エアポート



2024年8月ガバナーメッセージ

ロータリークラブでは、毎月異なるテーマが設定されています。8月のテーマは「**会員増強・新クラブ結成推進月間**」です。この月間中、ロータリアン、クラブ、地区が新会員の勧誘とロータリーの**新クラブ結成**に焦点を当てて活動します。これは、ロータリークラブの成長と発展を促進するための重要な取り組みです。

ロータリークラブの**会員増強**は、その活動と影響力を拡大するための重要な戦略です。以下にその理由をいくつか挙げてみます。

多様性の強化：新しい会員を迎え入れることで、クラブは多様な視点と経験を持つ人々を集め、その結果、より広範で効果的なプロジェクトとイニシアチブを推進することができます。

影響力の拡大：会員数が増えると、ロータリークラブはより多くの人々とコミュニティに対して肯定的な影響を及ぼすことができます。これは、教育、健康、平和、水と衛生、経済開発など、ロータリーの焦点となる多くの問題に対する取り組みを強化します。

リーダーシップの機会：新しい会員は新たなリーダーシップの機会をもたらし、クラブの活動と方向性に新たなエネルギーと視点を提供します。

持続可能性：会員増強は、ロータリークラブが将来にわたって活動を続け、コミュニティに対する長期的な影響を持つための重要な要素です。

以上の理由から、ステファニー A. アーチック氏は、会員増強を重視し、それを組織の主要な目標としています。これにより、ロータリーは世界中でより大きな影響を与え、より多くの人々の生活を改善することができます。

また、クラブ組織を強化するためには、会員の**帰属意識**を高める必要があります。その方策をいくつか挙げてみます。

会員の経験を高める：会員や参加者がクラブに何を求めているかを問うことで、より参加者を中心としたアプローチを採用します。これにより、会員の満足度と帰属意識が高まります。

クラブの活動を共有する：クラブの慣行、文化、イメージ、会員としての体験を調査し、強みと課題を明らかにします。これにより、会員がクラブの活動に深く関与し、クラブへの帰属意識を強化します。

奉仕プロジェクトのインパクトを実感させる：会員は皆、自分たちの寄付や取り組みが、地域社会にどんなインパクトをもたらしているかを知りたいと感じています。そのため、地元や海外での自分たちのプロジェクトの進捗や課題について、会員に常に最新情報を伝えるようにしています。また、各自が関心をもつ活動を選び、参加できるようにすることで、参加意識や帰属意識を高めています。

親睦活動を企画する：例えば、音楽やダンスを楽しみながら、地域社会に貢献できる活動を企画します。これにより、会員間の絆が深まり、クラブへの帰属意識が高まります。

包括的な環境を作る：ありとあらゆる行動人が「ロータリーには自分の居場所がある」と思えるような場所にする必要があります。これにより、会員が自分らしくいられる、包括的で居心地のいい環境を作りつづけることができます。

これらの取り組みは、会員の満足度を高め、クラブへの帰属意識を強化し、結果的に退会を防ぐことにつながります。



新しいロータリークラブを結成することは、世界中の地域社会にインパクトをもたらすロータリーの力を高める重要な手段です。新クラブの結成は、以下のようなプロセスを通じて行われます。

新クラブアドバイザー：新クラブアドバイザーが地区リーダーと協力して、新クラブ設立のプロセスを立案・支援します。

スポンサーとメンター：他のクラブや個々の会員も、新クラブの「スポンサー」や「メンター」となれば、大切な役割を果たすことができます。

新クラブの設立条件：新しいロータリークラブの創立会員は最低 20 名、新しいローターアクトクラブの会員数は最低 12 名が推奨されています。

地区ガバナーとの連絡：まず、地区ガバナーをはじめとする地域内のロータリーのリーダーに

連絡します。これらの地区リーダーが、クラブ設立の条件などをアドバイスしてくれます。

新クラブ設立の理由：新クラブの設立を検討する理由としては、まだクラブが存在しない地域が地区内にある場合、自分のクラブに新会員を入会させることができない場合、例会曜日と時間の都合がつかない会員（または入会候補者）がいる場合、オンラインでの例会、より少ない例会頻度、異なる例会形式を望む会員がいる場合などがあります。

新クラブ設立の準備：新クラブ設立の準備には、「新ロータリークラブ結成のクイックスタートガイド」などの資料が利用できます。

新クラブの結成については、以下の URL を参考にしてください。

新クラブをつくろう | My ROTARY

<https://my.rotary.org/ja/learning-reference/learn-topic/start-club>





地区活動報告

第11回全国インターアクト研究会 参加のご報告



2024-2025 年度 地区青少年奉仕委員長
岡本弥生（河内長野高野街道 RC）

2024年6月15日～16日の2日間、神戸にて第11回全国インターアクト研究会が開催され、当地区からは谷宗光ガバナー（現直前ガバナー）、坂東剛地区インターアクト委員長と小職が参加させて頂きました。

各会議資料を下記 URL にアップロードしましたので、皆様にご共有させて頂きます。

●各会議資料 <https://61.gigafile.nu/0925-136b665750717735fb8c623a675900e1>

（ダウンロード期限 2024年9月25日迄）



1日目は講演「危機管理とファシリテーション」、パネルディスカッション「未来のリーダーに届けるべき指導者像」、事例発表などの後、懇親会が開催されました。懇親会では参加されている他地区の IAC 委員長や青少年奉仕委員長と情報交換を行うことが出来、今後の地区間交流などが必要となった場合のネットワークが構築できました。参加は自由となっている懇親会ではありますが、ネットワークの構築および情報交換のためには非常に重要なプログラムでした。

2日目はグループワークを行い、私の参加したグループ（ロータリアン7名、IAC 教諭3名）では「日本のインターアクターは平和で豊かな環境で育っていることもあるのか、自発性（ハングリー精神）が乏しい傾向にある、そのような彼らにロータリアンの経験値や様々な知識（地域の課題や日本が置かれている状況、世界の問題など）をうまく共有することで“役に立てることは何か”ということを生徒自身に考えてもらえるようにしていくべき」とのインターアクターを導くべき方向性に話が及び、大変充実したグループワークとなりました。

2日間の研究会を通じて、各地区の I A C の共通の課題の共有やそれに対する様々な取組み、I A C との関わり方に関するヒントや注意点、インターアクトを導くための手法など学びの多い機会となりました。





地区活動報告

委員会活動報告

米山記念奨学委員会
委員長 三木菊夫



2024 学年度の米山記念奨学委員会は野村ガバナー年度の他の委員会より一足早く 4 月から委員会活動を開始しています。

つまり、4 月 7 日（土）奨学生オリエンテーション／カウンセラー研修会／米山記念奨学生確約宣誓式を皮切りに、6 月 29 日（土）奨学生卓話研修会／懇親会、そして 7 月 28 日（土）米山記念奨学事業学校説明会と既に 3 つの行事をこなしてまいりました。

一つ目の米山記念奨学生確約宣誓式は、奨学生達がオリエンテーションを受講後、自分達に求められている諸事項を理解のうえ、その履行を約束する「確約書」に署名します。この「確約書」に署名することによって晴れて「米山記念奨学生」となれるという重要な式典です。これより奨学生達はそれぞれの世話クラブの例会に月に 1 回以上出席し、ロータリーの一員としての生活がスタートします。

そして奨学生達が例会への出席にも慣れ始めた 6 月 29 日、卓話研修会を開催しました。例年は宿泊研修を実施していましたが、今年は単日開催の研修とし、YouTube にアップされている他地区の奨学生卓話の動画を 3 本視聴して、それぞれの動画の良い点、悪い点、自分の卓話を作り込む際に参考になる点等、参加していただいた学友会の会員の方々も交えて意見交換をしました。継続学生（2 年目の学生）の一人が卓話を実演してくれるというサプライズがあり、お願いしたところ堂々とした卓話を披露してくれて、新規奨学生（1 年目の学生）達も納得の表情を見せていました。今回の研修会で、そもそも「卓話」とは何か、どの様な作法で行えば良いかは新規奨学生の皆様にご理解いただけたかと思しますので、各奨学生達の卓話の出来はそれぞれの自主性と能力に任せることにします。乞うご期待です。



夏から秋、冬にかけては、次年度(2025 学年度)の奨学生募集の手続きが始まります。7月28日(日) 茹だるような暑さの中、指定校候補校の学校担当者の方々にガバナー事務所のビルの4階会議室にお集まりいただき、学校説明会を開催いたしました。新規指定校3校を含む10校のご参加をいただき、米山記念奨学事業について、さらにロータリーは奨学生に何を求めるのかについて、動画とパワーポイントを使って約90分間説明をさせていただきました。担当者の方々も担当になって日の浅い方が多く熱心に説明を聞いていただき、またコロナ禍後の各校の留学生の状況をお聞きするなど情報交換、意見交換ができてとても有意義な学校説明会となりました。

今後の当委員会の事業予定は、9月14日(日)にクラブ委員長会議/カウンセラー研修会、11月17日(日)は奨学生の地区大会参加/学友会総会、12月8日(日)イヤーエンドパーティーと続き、次年度の奨学生、世話クラブを選定した後、3月1日(土)米山奨学期間終了式/歓送会で1年間の当委員会の事業が終了となります。

最後に奨学生の卓話派遣、事業派遣について。PETS、カウンセラー研修会、地区協議会等機会あるごとにご説明をさせていただいておりますとおり、野村ガバナー方針にそって地区から直接希望クラブに奨学生を派遣することはせず派遣のマネジメントは各世話クラブにお願いをすることとして、その実施要領については、各クラブ宛てにご案内をしているところです。この一連の事務作業についてはご不明の点、ご不便な点多々あるものと想定していますが、その都度委員長宛てにご質問等いただければ対応させていただきますので、何卒諸々ご理解賜りたくこの段よろしく願いいたします。





クラブ活動報告

世代をつなぐ国際奉仕活動

和歌山中ロータリークラブ
国際奉仕委員長 宮本裕史

I. これまでの経緯：

(1) 《先の大戦とロータリー活動》：

和歌山中ロータリークラブ（会長久保邦臣、会員 18 名）は、先の大戦で多大な数の民間人犠牲者を出してしまったフィリピンで、特に青少年の方々のために何かお役に立てることをしたいとの思いから、マニラ市南のサンペドロ市（人口 33 万人）において 1991 年以降これまでの 33 年間で 10 か所の保育園を建設して来ました。各保育園では 1 か所平均約 70 名の 3～4 歳の子供たちを対象に、サンペドロ市福祉課および姉妹クラブと共同で、給食サービスや英語の初等教育等の機会を提供しています。2024 年 5 月時点までに累計約 12,000 名の児童が卒園しました。保育園の建設費は 1 か所平均約 300 万円でした。





(2) 《遠大な夢の実現へ》:

私達は 1991 年 7 月に初めて現地を訪問しました。訪問時、元気な子供たちと一緒に楽しいひと時を過ごして以来、いつかこの子らが大きくなった時にも何か支援することが出来ないか、という思いを抱き続けて来ました。そしてそれから 14 年が経過した 2005 年、私達の「遠大な夢」であった「和歌山中ロータリークラブ大学スカラーシップ」を立ち上げました。上記 10 か所の保育園卒園児の中から経済的に大学進学がかなわない優秀な子女を毎年 1～2 名選抜し、マニラ首都圏の 4 年制大学での勉学に必要な 4 年間の学費・教材費の全額と生活費の一部を支援するというスカラーシップです。これまで 22 名の学生を支援し、加えて、支援学生には世界に向けての視野を広げて頂きたいとの思いから全員に和歌山県訪問の機会を提供して参りました。私達のスカラーシップ奨学金は立上げ当初から 1 人当り 4 年間で米ドル \$ 10,000 ですが、日本からの送金必要金額は当初の 100 万円から昨今は 160 万円となってしまいました。



<フィリピン大学奨学生（卒業生並びに在学生）>



II. 新着ニュース：

(1) 《世代をつなぐ国際奉仕活動》：

私達が支援したスカラーシップ奨学生の中に Merry Queenlyn G. Marko（メリー・クイーンリン）さんがいます。1989年8月1日生まれで、私達が2番目に建設した Magsaysay（マグサイサイ）保育園を卒園、17歳になった時点で「和歌山中ロータリークラブ大学スカラーシップ奨学生」に選抜され、2006年6月にマニラ市ライセウム・フィリピン大学に入学、2010年3月優秀な成績で経営学科を卒業しました。この間、2007年10月には私達の日本招待を受けて県民文化会館で開催された Intercity Meeting に出席し、奨学生の立場から私達の奉仕活動に関する近況報告をしてくれました。クイーンリンさんはその後、一流企業での勤務を経てご結婚、私達がサンペドロ市を訪問して彼女と再会した2019年2月にはご懐妊中の様子でした。それから5年後の今年5月21日（火）、サンペドロ市のアストロ・ドームで開催された保育園10か所の合同卒園式では、クイーンリンさんの子供さんが無事卒園証書を受け取りました。卒園したのは、お母さんのクイーンリンさんが卒園したあのマグサイサイ保育園です。私達が最初の「保育園建設」に取り組み始めてから数えて33年、「大学スカラーシップ」を立ち上げてから19年、私達の支援が、お母さんの世代から次の世代に届いたのです。

このニュースに接し、和歌山中ロータリークラブの会員一同、33年間の歴史の重みと長年継続して努力して来た奉仕活動の手応えに、感動を禁じ得ませんでした。



< 2015年2月サンペドロ RC 訪問時 >



< 2019年2月サンペドロ RC 訪問時
懐妊中のメリー・クイーンリンさん >



< 2024年5月21日に開催された合同卒園式 >



(2) 《皆様へのお知らせ》第 2640 地区、和歌山市内各ロータリークラブの皆様、
サンペドロ RC の皆様への御礼：

何事にも始まりがあれば終わりあり。私達のクラブも近年のクラブ財政上の問題により、これまでのような国際奉仕活動はこれ以上継続することが出来ない、と判断するに至りました。現在「大学スカラーシップ」により 2 名の学生が大学に在学中ですので、この 2 名が卒業までに必要とする資金 \$10,000 の今期支援を最後として、私達は 33 年に渡るフィリピンでの国際奉仕活動の幕を閉じることを決定いたしました。思い起こせば 1990 年、当時の第 2640 地区国際奉仕委員会の方々に World Community Service に関するご助言を頂き、その WCS リストからフィリピン・サンペドロロータリークラブ提唱の“Day Care Center Project”を選ばせて頂いたのがすべての始まりでした。また和歌山市内各クラブの皆様には、当クラブが Intercity Meeting を担当させて頂くたびに、多大なご支援を賜りました。いくつかの保育園、そして何人かのスカラーシップ奨学生への支援は皆様のご協力のお陰で実現したものです。国際ロータリー第 2640 地区、そして和歌山市内各ロータリークラブの皆様に変更して御礼申し上げたいと存じます。長年のご支援ご協力、本当に有難うございました。

そして故ニロ・アルフォンソ会員、フィル・シブーロ会員、エミール・メンディオーラ会員はじめ、姉妹クラブ・サンペドロ RC の皆様、長年の以心伝心のチームワークに感謝申し上げます。サンペドロ RC が常に心掛けておられる“*For others, with others.*”の実践に心から敬意を表します。もし皆様との出会いがなかったなら私達の国際奉仕活動は実現しなかったでしょう。そしてデイケアセンター保育園の児童・卒園生の皆さん、和歌山中ロータリークラブ大学スカラーシップ奨学生の皆さん、皆さん一人一人がこれからも充実した人生を過ごされますよう心から願っています。



< 2007 年 10 月 I.M. にフィリピン奨学生を御招待 >



< 合同卒園式に出席されたフィリピン・サンペドロ RC のメンバー >



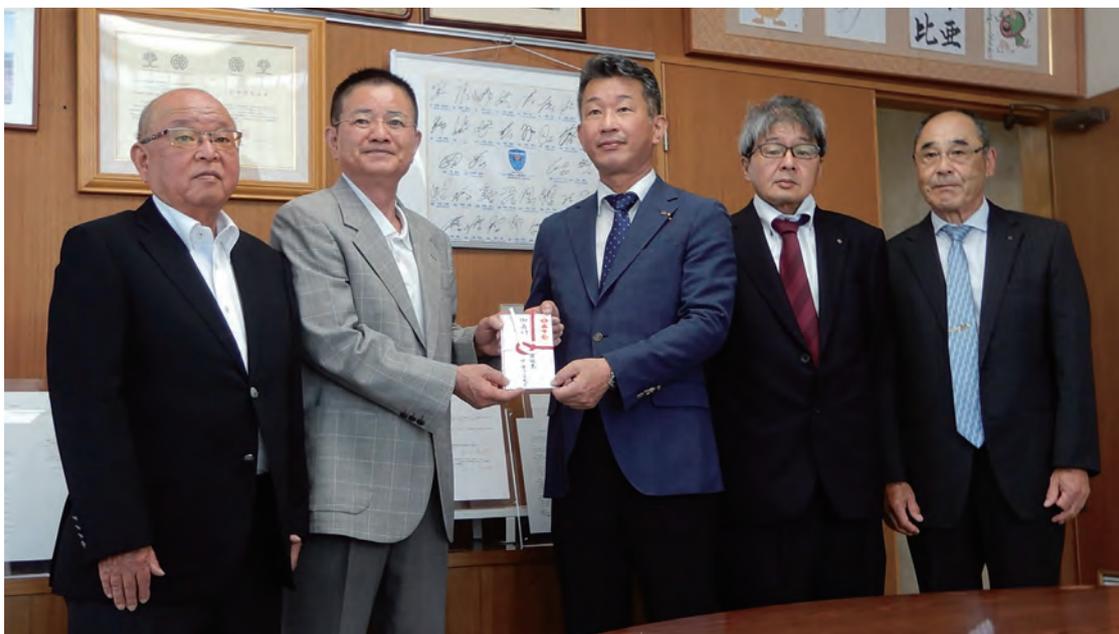
クラブ活動報告

上富田町青少年育成町民会議へ活動支援金贈呈

田辺東ロータリークラブ

田辺東 RC(会長 渡口 眞二)は、上富田町青少年育成町民会議の活動に対し、支援金を贈呈しました。同会議は、子どもたちの健全育成を目指すと共に令和 6 年度は「都市との交流事業」で奈良県斑鳩町、少年野球チームとの交流事業を予定しています。

田辺東 RC では、こうした事業活動を応援するため 2011 年から続け、本年度は 7 月 10 日に町長室を訪問し、上富田町長と青少年育成町民会議議長に支援金を贈りました。





クラブ活動報告

R財団グローバルプロジェクト「衛生水資源貯水タンク新設」寄贈式

貝塚コスモスロータリークラブ
国際奉仕委員長 川崎晃生

開催日：2024年6月28日(金)

開催場所：台湾、花蓮県光復郷大興村

友好クラブであります台湾の台北松山扶輪社から、R財団グローバルグラントプロジェクトを実施するにあたり、クラブに国際パートナーのお願いがありました。

クラブとして協力の要請を承諾して、地区財団活動資金（DDF）を活用させていただき、資金補助をすることとなりました。

場所は、花蓮県光復郷大興村。内容は、この村では今まで安定したきれいな水が供給出来ない状況でした、毎回台風及び洪水により水不足に直面して住民の皆さんが大変困っており、この新設工事により、215世帯、593人の村民がこの計画の恩恵を受けることになります。

6月28日現地で寄贈式がありクラブから3名参加してまいりました。

立派な設備を目の当たりにして、感激しております。

これからは、住民の皆さんに活用していただき、喜んで頂けたらと願っております。





新会員の紹介

	クラブ名	和歌山ロータリークラブ		クラブ名	和歌山ロータリークラブ
	氏名	もりなが あきかず 森永 暁和		氏名	たけむら ひろかず 竹村 浩和
	職業分類	生命保険		職業分類	証券
	生年月日	1968年10月		生年月日	1978年8月
	入会年月日	2024年6月4日		入会年月日	2024年6月11日
	クラブ名	和歌山ロータリークラブ		クラブ名	富田林ロータリークラブ
	氏名	じこう のぶはる 慈幸 信治		氏名	まつもと まさのり 松本 公成
	職業分類	特殊印刷		職業分類	豆腐製造
	生年月日	1970年10月		生年月日	1973年3月1日
	入会年月日	2024年6月11日		入会年月日	2024年6月6日
	クラブ名	富田林ロータリークラブ		クラブ名	富田林ロータリークラブ
	氏名	きたおか ひろあき 北岡 裕章		氏名	きたばやし ゆうすけ 北林 祐介
	職業分類	弁護士		職業分類	製菓・製パン業
	生年月日	1974年5月11日		生年月日	1979年2月23日
	入会年月日	2024年6月6日		入会年月日	2024年6月6日
	クラブ名	岸和田ロータリークラブ		クラブ名	和泉南ロータリークラブ
	氏名	よしたに ゆうすけ 吉谷 裕介		氏名	やまもと たもつ 山本 保
	職業分類	保険業		職業分類	環境関連事業
	生年月日	1977年11月7日		生年月日	1966年1月22日
	入会年月日	2024年6月12日		入会年月日	2024年6月21日
	クラブ名	堺ロータリークラブ		クラブ名	堺ロータリークラブ
	氏名	かいとう やすはる 海東 保晴		氏名	おおえ ひろゆき 大江 裕之
	職業分類	国際ホテル		職業分類	損害保険業
	生年月日	1965年3月2日		生年月日	1970年6月6日
	入会年月日	2024年6月13日		入会年月日	2024年6月20日
	クラブ名	堺東ロータリークラブ		クラブ名	田辺ロータリークラブ
	氏名	いまの やすこ 今野 靖子		氏名	うらで あきら 浦出 憲
	職業分類	日本舞踊 師範		職業分類	不動産売買
	生年月日	1993年3月1日		生年月日	1957年4月29日
	入会年月日	2024年6月1日		入会年月日	2024年6月6日
	クラブ名	田辺ロータリークラブ			
	氏名	もりた きよお 森田 清郎			
	職業分類	土木業			
	生年月日	1970年3月25日			
	入会年月日	2024年6月13日			



訃報

故人の功績を称え 謹んでお悔やみ申し上げます

田辺ロータリークラブ



たや つねひこ
多屋 平彦 様

2024年6月3日 逝去

在籍期間 28年8ヶ月

職業分類 林業

表彰 第5回米山功労者





公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

ハイライト よねやま

vol.

292

2024年7月12日

発行

1 米山記念奨学会 事務局長交代のお知らせ

6月30日をもって、^{ゆのきひろこ} 柚木裕子が事務局長を退任し、7月1日より^{みね じゅんこ} 峯 純子が新たに事務局長に就任しました。なお、柚木前事務局長は、1年間アドバイザーとして事務局をサポートします。



【退任のご挨拶】

世界中がコロナ禍の対応に追われていた2020年7月に事務局長に就任し、ロータリー活動自体にも制限がかかる中、米山奨学事業は各地区と共に工夫を重ね、困難に耐え、乗り切ることができました。ひとえに、ロータリー会員の皆さまの熱心、そしてご理解と努力の賜です。2023年度は米山学友による世界大会「再会 in 関東」の開催など、コロナ以前の明るさが戻りました。多くの米山学友から「懸け橋になりたい」、「恩返ししたい」という心強い言葉を何度も聞き、当事業に尽力された皆さまの積み重ねの成果として実感しています。感謝の気持ちと共に、当事業を率いるに相応しい^{みね じゅんこ} 峯純子新事務局長にバトンを繋ぎます。皆さまの多大なるご支援、本当にありがとうございました。



【就任のご挨拶】

このたび柚木前事務局長の後任として事務局長に就任いたしました。歴代事務局長の中では最年少ですが、当財団に入職して21になる経験の全てを生かし、この歴史ある奨学事業をさらに発展させ、次代に引き継ぐ役目を果たすべく誠心誠意努める所存です。VUCAと呼ばれる先の見通せない時代において、当財団も今後より一層、さまざまな変化への対応が必要になるものと思います。ご支援いただいておりますロータリー会員の皆さま、役員の皆さまをはじめ、関係する皆さま方のご指導とご協力を頂きながら、職員一同、その変化をプラスの力に換えて、この素晴らしい事業の発展のために尽力してまいります。今後ともご指導、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

2 第2580地区米山学友会 40周年記念総会開催

7月6日、国際ロータリー第2580地区米山学友会の40周年記念総会が都内にて開催され、米山学友59人、現役奨学生35人を含む140人が集いました。当会からは若林紀男理事長、峯事務局長が臨席しました。



ら「ロータリー・米山梅吉・学友会」というテーマで、これまでの歴史についてお話されました。続けて、現在伊藤忠総研に勤める^{チョウイーリン} 趙瑋琳さん（2008/東京自由が丘RC）が登壇し、

3部構成で行われた第1部は、会長のエンフボルド ^{ガンエルデネ}さん（2014-15/東京江東RC）の開会の辞、若林理事長、同地区の石川彌八郎ガバナーの挨拶に続き、学友会の活動・会計決算・監査報告が行われました。また、新年度会長および役員を選任が行われ、^{ヨウシメイ} 楊子明さん（2002-03/東京新橋RC）が会長に選出。登壇した楊さんは、今後の活動方針を発表し、学友会の活動強化や規模拡大などを掲げました。

第2部の講演会では、当会の鈴木喬評議員か

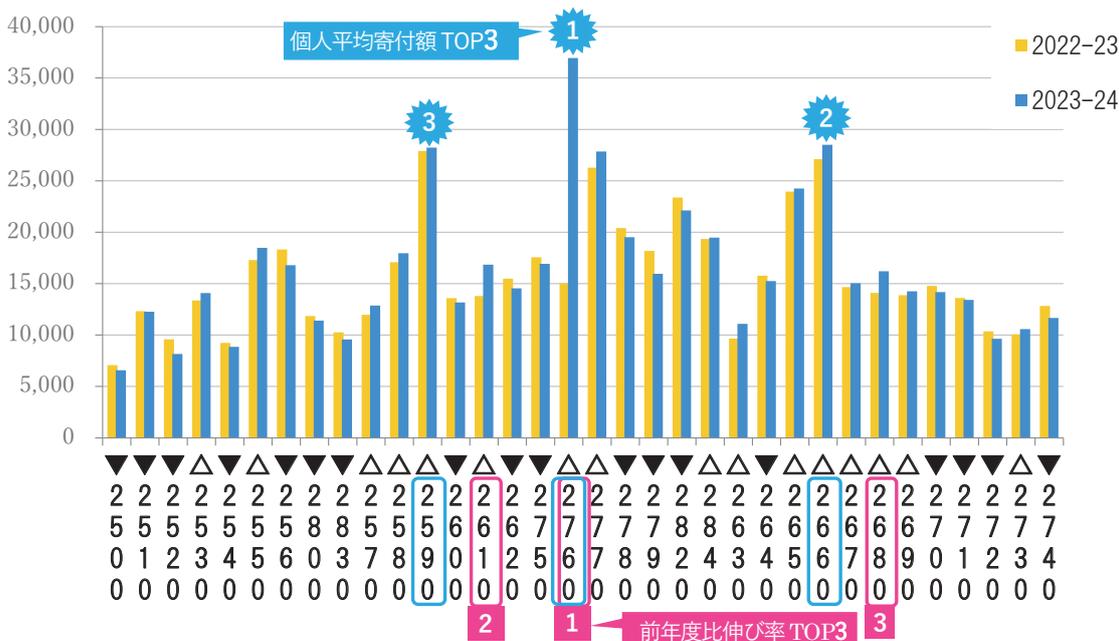
「アジアの激変、挑戦と輝く未来」というテーマで、アジアの情勢や、ASEANの成長などについて講演。質疑応答では複数人が手を挙げるなど、有意義な時間となりました。

懇親会が開催された第3部では、米山奨学生・学友による楽器演奏、民族舞踊、マジックなどが次々に披露され、大きな盛り上がりで温かい拍手に包まれました。この日、米山学友たちは口々に再会の喜びや日々の感謝を伝え、40周年という節目を盛大に祝う1日となりました。



3 2023-24 年度 寄付金結果

2023-24 年度の寄付金は約 14 億 4,600 万円となりました。前年度比 1.6%増(普通寄付金:0.16%増、特別寄付金:2.18%増)、約 2,300 万円増加しました。とりわけ、年度初めの 7 月初旬に入金された 1 億円の高額寄付により、寄付総額は前年度を一度も下回ることはありませんでした。ご寄付いただいた皆さまに厚く御礼申し上げます。2024 年度も引き続き、よろしくお願いいたします。



個人平均寄付額 TOP3 【全国平均：17,293 円】

① 第 2760 地区：36,935 円 ② 第 2660 地区：28,501 円 ③ 2590 地区：28,232 円

前年度比伸び率 TOP3

① 第 2760 地区：245.7% ② 第 2610 地区：122.1% ③ 2680 地区：115.0%

4 重要無形民俗文化財「相馬野馬追」を観覧

5 月 26 日、国際ロータリー第 2530 地区の米山奨学生 20 人とそのカウンセラーなどを合わせた 60 人が、相馬野馬追を観覧しました。

今回のイベントは、福島県で最も有名な伝統文化にもかかわらず、これまで米山奨学生を連れていく機会がなかった、ということで原町中央 RC が主体となり企画。地区のサポートを受けながら、実施に至りました。



御行列を観覧する奨学生たち

当日は、南相馬市原町区特設の敷席「御行列」や、相馬野馬追の目玉である「甲冑競馬」、加えて「神旗争奪戦」といった歴史絵巻を見学しました。参加したベトナム出身のドン ティ

ハーさん(2023-25/原町中央 RC)は、「相馬野馬追を通じて、日本の文化と南相馬について理解を深めることができました」と、感想を述べました。

ベトナム南米山学友会 第 1 期総会 開催のご案内

2024 年 7 月 28 日(日) 13:00~14:30 (ベトナム時間) / 15:00~16:30 (日本時間)

■ オンライン参加可能

※※ 申し込み期限：7/15(月)まで ※※

申込・詳細は QR コードから





第2640地区 会員数報告(2024年6月)

クラブ名	会員数				入会			退会			クラブ名	会員数				入会			退会		
	23.7.1	内女性	24.6月末	内女性	6月	内女性	累計	6月	内女性	累計		23.7.1	内女性	24.6月末	内女性	6月	内女性	累計	6月	内女性	累計
串本	5	1	3	0	0	0	0	1	1	2	松原	11	0	6	0	0	0	0	0	0	5
那智勝浦	9	0	7	0	0	0	0	1	0	2	松原中	23	3	21	4	0	0	2	2	0	4
新宮	45	2	46	5	0	0	6	4	0	5	美原	7	1	7	1	0	0	0	0	0	0
白浜	10	1	8	1	0	0	0	2	0	2	大阪狭山	5	0	4	0	0	0	0	0	0	1
田辺	86	4	86	4	2	0	4	2	0	4	太子	16	1	16	2	1	1	1	0	0	1
田辺東	36	3	34	1	0	0	3	0	0	5	富田林	32	0	31	0	3	0	3	3	0	4
田辺はまゆう	28	6	26	5	0	0	5	4	1	7	泉佐野	25	0	25	0	0	0	1	1	0	1
有田	24	1	23	1	0	0	1	2	0	2	貝塚	14	1	14	1	0	0	0	0	0	0
有田南	22	1	21	1	0	0	0	1	0	1	貝塚コスモス	12	3	12	3	0	0	1	0	0	1
有田2000	13	0	13	0	0	0	1	0	0	1	関西国際空港	16	1	16	1	0	0	0	0	0	0
御坊	36	3	34	2	0	0	2	2	0	4	岸和田	31	1	30	0	1	0	1	0	0	2
御坊東	13	0	12	0	0	0	1	0	0	2	岸和田東	39	7	38	7	0	0	3	2	0	4
御坊南	15	6	13	4	0	0	0	1	1	2	岸和田南	6	0	6	0	0	0	0	0	0	0
海南	8	0	8	0	0	0	0	0	0	0	KUMATORI向日葵	8	2	8	2	0	0	0	0	0	0
海南東	40	5	40	5	0	0	1	0	0	1	りんくう泉佐野	15	3	13	3	0	0	0	2	0	2
海南西	15	1	15	10	0	0	0	0	0	0	羽衣	16	1	15	1	0	0	0	1	0	1
和歌山	76	1	76	2	3	0	9	6	0	9	和泉	20	0	20	0	0	0	0	0	0	0
和歌山アゼリア	29	11	26	10	0	0	1	2	0	4	泉大津	41	3	44	4	0	0	3	0	0	0
和歌山東	50	0	50	0	0	0	3	1	0	3	和泉南	59	2	62	2	1	0	4	1	0	1
和歌山城南	37	2	37	2	0	0	1	0	0	1	大阪金剛	12	1	11	1	0	0	0	1	0	1
和歌山中	17	0	18	0	0	0	1	0	0	0	高石	25	1	23	1	0	0	0	2	0	2
和歌山北	28	1	17	2	0	0	2	11	0	13	高師浜	10	1	10	2	0	0	1	0	0	1
和歌山南	70	6	71	7	0	0	6	2	0	5	堺	40	3	44	5	2	0	11	0	0	7
和歌山東南	36	5	40	5	0	0	4	0	0	0	堺東	16	3	17	4	1	1	1	0	0	0
和歌山西	10	1	9	1	0	0	0	1	0	1	堺泉ヶ丘	23	3	21	2	0	0	1	1	1	3
橋本	45	0	44	0	0	0	3	0	0	4	堺中	15	3	14	2	0	0	2	2	0	3
岩出	23	1	23	1	0	0	0	0	0	0	堺北	29	1	28	2	0	0	3	0	0	3
河内長野高野街道	18	5	17	5	0	0	2	0	0	1	堺おおいずみ	24	3	23	3	0	0	0	0	0	1
粉河	14	1	13	1	0	0	0	0	0	1	堺フェニックス	6	2	6	2	0	0	0	0	0	0
高野山	14	0	13	0	0	0	0	1	0	1	堺清陵	19	4	22	4	0	0	3	0	0	0
羽曳野	9	0	10	0	0	0	2	0	0	1											
河内長野	22	4	22	4	0	0	0	0	0	0	ワールド大阪 ロータリーEクラブ	8	0	7	0	0	0	0	0	0	0
河内長野東	22	2	21	2	0	0	0	1	0	1	計	1,548	128	1,510	140	14	2	99	63	4	133



クラブ数	2023年7月1日 会員数				2024年6月末 会員数				6月入会				6月退会				増減	
	男性	女性	合計	内女性	男性	女性	合計	内女性	男性	女性	合計	内女性	男性	女性	合計	内女性		
64	1,420	128	1,548	128	1,370	140	1,510	140	12	2	14	59	4	63	-47	-2		
	1,548				1,510				14				63				-49	

クラブを成功に導く 会員増強

みんなを温かく受け入れるクラブづくりを!

※河内長野高野街道RC 7/1付け 2名入会 ※堺北RC 7/1付け 1名入会



8月の行事予定表

日付	行事	場所
2(金)	IAC 国内研修(～4日)	石川県・能登地方
4(日)	第7回全国地区ローターアクト委員長 及び 地区ローターアクト代表 合同会議	AP 日本橋 6階
10(土)	第2回ガバナー補佐・幹事合同会議 14:00～16:00 (予定)	けやき ONE401

月信への寄稿のお願い

第2640地区の各クラブで行われた奉仕事業やクラブの自慢などを、月信に寄稿してみませんか？

原稿締め切りは毎月15日になります。原稿を15日以前にガバナー事務所宛にメールしていただければ翌月号に掲載させていただきます。事情により翌月以降の掲載になる場合もあります。

IT・ガバナー月信委員会



国際ロータリー 第2640地区 ガバナー事務所

〒640-8331
和歌山市美園町 3-34
けやき ONE301 号室

TEL : 073-426-2640
FAX : 073-426-2660

E-mail : nomura@rid2640g.com

JR 和歌山駅西口から徒歩7分
阪和道、和歌山インターから約10分

